

学校運営協議会だより

司会：(会長) 記録：(副校長)

《協議内容》

- ・会長・副会長選任
- ・令和7年度学校経営方針について
- ・学校運営協議会 年間の流れについて
- ・令和7年度「学校評価報告書」について
- ・いじめ防止基本方針について
- ・国立市教育委員会研究奨励校1年目の全体計画について
- ・地域学校協働活動推進員より進捗報告

参加者 会長・副会長・委員5名
(欠席 1名)
地域学校協働活動推進員1名
校長・副校長 教員8名



《協議結果》

- ・市の教育施策の方向性に対応して、学校、地域、家庭等、様々な立場や視点に立ってみんなで考えていく必要があると思う。地域としてできることは協力したい。
- ・今年度から始まる研究奨励校の研究主題は、テーマに「包摂力」という言葉が入り昨年度の「多様性」から一歩前に進めようという気概を感じた。一中生の特性と中教審の諮問を接続した上で家庭にも発信して頑張ってもらいたいと思う。また、各教科の研究ということで、全員の先生が参加できる形での研究を進めてほしい。
- ・「自分が人にしてあげたことは忘れないけれども、人してもらったことは忘れてしまう」という言葉を聞いたことがある。ぜひ、「ありがとう」が飛び交う学校作りを進めてほしい。
- ・学校評価報告書の「心の教育の充実」の項目で、「基本的生活習慣の確立」についての家庭への働きかけが必要であると思う。今後も三者面談等で話を聞く中で個に応じたアドバイスをしたり、5月のセーフティ教室で、全体に対してSNSの危険性についての情報発信をしたように様々な形で働きかけを継続してほしい。



- ・様々な対応が求められる時代、学校だけではできない対応も増えていく中で、不登校についても「多様な学びの一つ」という観点で考える必要がある。一方、学校が全ての責任を負うという状況も変わってきていることも理解してもらわないといけない。そのための橋渡しとして学校運営協議会があると良いと思う。
- ・生徒や家庭が学業以外の部分にも価値を見い出せるように、行事や委員会活動、ボランティア活動、部活動、地域での活動等、多様な取組ができる地域、学校環境にしていきたい。
- ・コミュニティ部の指導員として大勢を指導してみて、多様な生徒に対して、それぞれ個別に対応をしながら活動を進めていくことの大変さを実感し、先生方には頭が下がる思いである。
- ・地域学校協働活動推進員として、地域と連携した避難訓練やコミュニティ部の立ち上げ等を行っている。活動を進めながら、学校に負担をかけない部活動、地域連携を柔軟に進めていきたい。

第1回学校運営協議会は、主な協議内容について全て承認しました。

第2回の学校運営協議会は、令和7年7月1日(火)15時30分より開催します。